

二、更政給を更に適當額まで引上げること  
三、罷業中の日給は支給すること  
四、将来市電賊政の確立を見たる上は漸次待遇改善を計ること

右解決案とて提出致し候間何卒御採用相成度候也

昭和九年十月九日

日本交通從業員組合本部

昭和九年十月十日（午前十一時五十分）

警視廳特別高等警察部勞働課



市

電 爭 議

二 關

スル 情 報

（再羅一五）

第一三一報

一、東交爭議團大衆動員

東交爭議首腦部ノ指令第三十號基ハ牛塚市長澤木助後山下  
電氣局長邸等を中心ノ大衆動員ノ各署ニ於テ去後前諭  
示申止。此如外事以警戒員等於大衆的集團トナラサル以前  
解散セシム久事半依リ彼等、早期セル成果ヲ擧ク。此ニ  
不無未隨多シ如タルカ前町中六番町牛塚市長邸を中心  
大衆動員八年前六時三十五分頃清國神社境内約二〇〇名同セ  
時頃前室谷見附三約三〇名其半他方合也。元約七〇〇名集合  
則甚大々警戒員等於豫解散如前芝邊印金今里町澤木助役  
入山下山處數日中八時半